明けましておめでとうござい ます。

ありがとう 2" ざいま 旧年中は諸事お世話になり、 した。

今年は下宅部遺跡を 『価する年にします

遺跡 を中心とした『下宅部 はほとんどない。縄文 り、人目に触れること は屋内での作業であ 分析を行うが、これら 成のための資料整理・ (1)·(2)₁ 設でもあり、「育てる会」の新たな活 また、様々な体験ができる体験学習施 動場所として活用が期待されている。 土資料は総てここに収蔵・展示される。

遺跡はっけんのもりを育てる会」の 了から6年が過ぎたことになる。)たのは平成18年の春であった。 そして今年は平成21年、

下宅部遺跡が発見さ

本

年後のことであった。

験館」と呼ばれていた施設である。 北山たいけん館構想」の中で「縄文体 え、「育てる会」としても節目にあた 労と楽しみとなってから5周年を迎 けんの里」が開館する。かつて「(仮称 る今年、紆余曲折を経て「八国山たい 下宅部遺跡を始めとした市内遺跡出 産みの苦しみを乗り越え、育てる苦

査は終了した。

引き続き本報告書作

な調査成果を発信しな け、平成15年3月、様々

がら進めてきた現場調

会を行い、新聞発表な 概報の刊行や現地説明 から毎年度ごとの調査 たのが平成9年。それ

どをしながら調査を続

古代中心の『下宅部遺跡 \mathbb{I} が完成

第 90 号【'09-1月号】

はっけんのもりを育てる会 東村山市諏訪町1-6-3 TEL: 042-396-3800

発行日: 平成 21 年1月13 日

発 行:下宅部遺跡

ス

み

つくろう

宇部遺跡はつけんのも

の表に見るように、報告・論文等の発 機を押しとどめていたのは、「下宅部 目に触れる機会は少ない。そうした危 表は随時行っていたが、地元の方々の まうには十分な時間である。 2ページ 6年という時間は、物事を忘れてし 現場調査終

年5月、発掘調査が終了してから約1 のための市民ワークショップから出発 決定した平成12年、公園の計画・設計 様々な活動に他ならない。 した。遺跡公園が完成したのは平成16 「育てる会」は、遺跡の埋没保存が

の飾り弓などが出土 年の平成8年。 漆塗り 調査が始まったのが翌 れたのが平成7年。

カラー刷りの調査

概報を出すようになっ

開催年	展示名称	主催者
2000	発掘された日本列島	文化庁
2004	海をわたった華花	国立歴史民俗博物館
2005	水辺と森と縄文人	国立歴史民俗博物館・東北歴史博物館・ 新潟県立歴史博物館
2005	蘇る縄文	さいたま川の博物館
2006	常設展示	東京都埋蔵文化財センター
2006	縄文のムラー弥生の村	茨城県立歴史館
2006	射る!弓矢の文化史	群馬県立歴史博物館
2007	縄文から続く北の漆文化	御所野縄文博物館
2008	常設展示	東京都埋蔵文化財センター
2008	縄文から続く「編み」の文化	御所野縄文博物館

下宅部遺跡の資料を貸し出した展示一覧

逆転現象が起きていた。今年は展示の 評価していただきたいと思う。(千葉) 機会も多く、東村山で下宅部遺跡を再 他所に行けば見ることができるという ふるさと歴史館では展示の機会が少な 下宅部遺跡の資料は、 他館への貸出は毎年続いており、 所蔵している

下宅部遺跡関係報告·論文等· -覧表

1997 石川正行				
1998 戸沢元則一葉敏郎・	発行所	題名•掲載書誌名	発行年	
1998 石川正行・黒海玉恵 「東京都東村山市下宅部遺跡の関査成果 - 縄文時代の弓と狩猟儀礼 - 」 東村山市 1999 古谷渉 「東村山市 安都遺跡の関査成果 - 縄文時代の弓と狩猟儀礼 - 」 東村山市 1999 下葉敬朗 「下宅部遺跡出土の 「素材」 系遺物について」 『東京の遺跡』 No.63 東京書古記 1999 石川正行 「佐報労 東京都東村山市下宅部遺跡の関査」	東京考古談話会		1997	
1999 古谷渉 「「史料紀介」下宅部遺跡の関査成果 - 縄文時代の弓と狩猟儀礼 - 」東村山市 1999 千葉歌朗 「下宅部遺跡に上の「素材」系遺物について」『東京の遺跡』No.63 東京老古記 1999 石川正行 「(連報)東京都東村山市下宅部遺跡の調査」 ユー・ナ 1999 戸沢充則・干葉敏朗 「東京都遺跡調査・研究発素会25 発表要旨』 東京都教育 2000 佐々木由香 「縄文時代の「水場遺構」に関する基礎的研究」『古代』第108号 早稲田大型 1992 中孫郎 「構立な砂水場遺構」に関する基礎的研究』『古代』第108号 早稲田大型 1992 中孫郎 「増加市下宅部遺跡」 1993 1993 1994 199	東京都教育委員会	·千葉敏朗· 「3.東村山市下宅部遺跡」 ·石川正行 『東京都遺跡調査研究発表会23 発表要旨』	1998	
1999 干菜	祭祀考古学会	·黒濟玉恵 「東京都東村山市下宅部遺跡」『情報 祭祀考古』第11号	1998	
1999 石川正行 「(速報)東京都東村山市下宅部遺跡の調査」	東村山市	「[史料紹介]下宅部遺跡の調査成果-縄文時代の弓と狩猟儀礼-」 『東村山市史研究』第8号	1999	
1999 戸沢充則・干葉敏朗	63 東京考古談話会	「下宅部遺跡出土の「素材」系遺物について」『東京の遺跡』No.63	1999	
2000 佐々木由香	ニュー・サイエンス社	『考古学ジャーナル』 450号	1999	
2000 佐々木由香	東京都教育委員会	·千葉敏朗 「2.東村山市下宅部遺跡」 『東京都遺跡調査・研究発表会25 発表要旨』	1999	
2000 千葉収的 「発掘された日本列島 2000新発見考古速報』 報告が同じ、	号 早稲田大学考古学会		2000	
2000 野村周平	朝日新聞社	「精巧な漆の技術を駆使。飾り弓10点が一挙に出土」 『発掘された日本列島 2000新発見考古速報』	2000	
1	朝日新聞社	「豊かな漆工製品を出した低湿地の下宅部遺跡」 『考古学クロニクル2000』	2000	
2000 野村周平	(財) 東京動物園協会	「東村山市下宅部遺跡の昆虫遺体[1] 昆虫が教える古代の武蔵野」 『インセクタリゥム』第37巻第10号	2000	
2000 勅使河原彰 「下宅部遺跡の調査成果と今後の課題」『東村山郷土のあゆみ』3 東村山郷土2000 倉石広太・長尾玲 「東村山市下宅部遺跡について」『武蔵野』第77巻第1号 武蔵野文代 戸沢充則・干薬敏朗・	雄山閣出版	「関東の低湿地遺跡-下宅部遺跡の水場遺構にみる生業活動-」 『季刊考古学』第73号	2000	
2000 倉石広太・長尾玲 「東村山市下宅部遺跡について」『武蔵野』第77巻第1号 武蔵野文代 2000 戸沢充則・干葉敏朗・	(財) 東京動物園協会	「東村山市下宅部遺跡の昆虫遺体[2] 遺跡から出土した昆虫遺体を同定する」『インセクタリゥム』第37巻第11号	2000	
2000 戸沢充則・干葉敏朗・	東村山郷土研究会	7 1 0000000 0 0000000000000000000000000	2000	
2001 千葉敏朗 「縄文時代の弓猟にともなう狩猟儀礼について」 東村山市 東村山市史研究』第10号 東京都教育 東京都教育 東京都遺跡調査・研究発表会28 発表要旨』 東京都教育 東京都教育 東京都遺跡調査・研究発表会28 発表要旨』 東京都教育 東京都教育 東京都遺跡調査・研究発表会28 発表要旨』 東京都教育 東京都教育 東京都遺跡の調査と活用」『明日への文化財』54号 文化財保存 2005 千葉敏朗 「東村山市下宅部遺跡の調査 漆関連資料の新発見を中心に」 たましん比 2006 永嶋正春 「縄文・弥生時代の漆研究の現状」『季刊考古学』第95号 雄山閣 2006 永嶋正春 「添工技術の発達と特質」『季刊考古学』第95号 雄山閣 2006 永嶋正春 「漆で見る縄文と弥生」『日経サイエンス』第36巻第3号 日経サイコ 2006 千葉敏朗 「東京都下宅部遺跡」『季刊考古学』第95号 雄山閣 東京都下宅部遺跡」『季刊考古学』第95号 雄山閣 東京都下宅部遺跡にあける 14 C 年代研究」 東京都野宅部遺跡における 14 C 年代研究」 考古学研究 東京都野宅部遺跡における 14 C 年代研究」 東京都野田 「東京都下宅部遺跡における 14 C 年代研究」 東京都野田 「東京都下宅部遺跡における 15 巻第1号 日成社 2007 日本植生史学会 「特集:下宅部遺跡の縄文時代」『植生史研究』第15巻第1号 日本植生史	武蔵野文化協会	·長尾玲 「東村山市下宅部遺跡について」『武蔵野』第77巻第1号	2000	
2003 戸沢充則・千葉敏朗・	東京都教育委員会	·千葉敏朗· 「6.東村山市下宅部遺跡」 『東京都遺跡調査・研究発表会26 発表要旨』	2000	
2003 F葉敏朗 「東京都遺跡調査・研究発表会28 発表要旨』 木が町外 2005 石川正行 「東京・下宅部遺跡の調査と活用」『明日への文化財』54号 文化財保存 2005 石川正行 「東村山市下宅部遺跡の調査 漆関連資料の新発見を中心に」 でましん比 2006 永嶋正春 「縄文・弥生時代の漆研究の現状」『季刊考古学』第95号 雄山閣 2006 永嶋正春 「漆工技術の発達と特質」『季刊考古学』第95号 雄山閣 2006 永嶋正春 「漆で見る縄文と弥生」『日経サイエンス』第36巻第3号 日経サイコ 2006 千葉敏朗 「東京都下宅部遺跡」『季刊考古学』第95号 雄山閣 東京都下宅部遺跡にあける 14 C 年代研究」 表古学研究 第53巻第4号 2007 千葉敏朗 「下宅部遺跡にあける 14 C 年代研究」 表古学研究 第53巻第4号 日本植生史学会 「特集:下宅部遺跡の縄文時代」『植生史研究』第15巻第1号 日本植生史学会 「京都製作のムラ」 同成社 日本植生史学会 「京都製作のムラ」 日成社 日本植生史学会 「京都製作のムラ」 日本植生史研究』第15巻第1号 日本植生史	東村山市	「縄文時代の弓猟にともなう狩猟儀礼について」 『東村山市史研究』第10号	2001	
2005 石川正行 「下宅部遺跡の調査と活用」『明日への文化財』54号 文化財保存 2005 干葉敏朗 「東村山市下宅部遺跡の調査 漆関連資料の新発見を中心に」 たましん比 2006 永嶋正春 「縄文・弥生時代の漆研究の現状」『季刊考古学』第95号 雄山閣 2006 永嶋正春 「添工技術の発達と特質」『季刊考古学』第95号 雄山閣 2006 永嶋正春 「漆で見る縄文と弥生」『日経サイエンス』第36巻第3号 日経サイエンス』第36巻第3号 日経サイエンス』第53巻第4号 1 東京都下宅部遺跡における 14 C 年代研究」 大藤雄一郎・小林謙一・「東京都下宅部遺跡における 14 C 年代研究」 表古学研究』第53巻第4号 1 東京都下宅部遺跡における狩猟儀礼」『原始・古代日本の祭祀』 同成社 1 東京都における狩猟儀礼」『原始・古代日本の祭祀』 同成社 1 東京都における狩猟儀礼」『原始・古代日本の祭祀』 日本植生史学会 「漆器製作のムラ」 日本様生史研究』第15巻第1号 日本植生史	東京都教育委員会	・千葉敏朗・ 『東京都遺跡調査・研究発表会28 発表要旨』	2003	
2005 干葉敏朗 「東村山市下宅部遺跡の調査 漆関連資料の新発見を中心に」				
『多摩のあゆみ』116 2006 永嶋正春 「縄文・弥生時代の漆研究の現状」『季刊考古学』第95号 雄山閣 2006 永嶋正春 「漆工技術の発達と特質」『季刊考古学』第95号 雄山閣 2006 永嶋正春 「漆で見る縄文と弥生」『日経サイエンス』第36巻第3号 日経サイコ 2006 干葉敏朗 「東京都下宅部遺跡」『季刊考古学』第95号 雄山閣 2007 工藤雄一郎・小林謙一・ 「東京都下宅部遺跡における 14 C 年代研究」 で表古学研究』第53巻第4号 お古学研究』第53巻第4号 で下宅部遺跡における狩猟儀礼」『原始・古代日本の祭祀』 同成社 2007 日本植生史学会 「特集:下宅部遺跡の縄文時代」『植生史研究』第15巻第1号 日本植生史	文化財保存全国協議会		2005	
2006 永嶋正春 「漆工技術の発達と特質」『季刊考古学』第95号 雄山閣 2006 永嶋正春 「漆で見る縄文と弥生」『日経サイエンス』第36巻第3号 日経サイコ 2006 干葉敏朗 「東京都下宅部遺跡」『季刊考古学』第95号 雄山閣 2007 工藤雄一郎・小林謙一・ 坂本稔・松崎浩之 「東京都下宅部遺跡における14C年代研究」 考古学研究』第53巻第4号 考古学研究』第53巻第4号 2007 干葉敏朗 「下宅部遺跡における狩猟儀礼」『原始・古代日本の祭祀』 同成社 「特集:下宅部遺跡の縄文時代」『植生史研究』第15巻第1号 日本植生史 2007 工葉知朗 「漆器製作のムラ」 同成社	たましん地域文化財団	『多摩のあゆみ』116	2005	
2006 永嶋正春 「漆で見る縄文と弥生」『日経サイエンス』第36巻第3号 日経サイコ 2006 干葉敏朗 「東京都下宅部遺跡」『季刊考古学』第95号 雄山閣 2007 工藤雄一郎・小林謙一・「東京都下宅部遺跡における 14 C 年代研究」 「東京都下宅部遺跡における 14 C 年代研究」 「考古学研究」第53巻第4号 考古学研究」 「考古学研究」第53巻第4号 2007 干葉敏朗 「下宅部遺跡における狩猟儀礼」『原始・古代日本の祭祀』 同成社 「特集: 下宅部遺跡の縄文時代」『植生史研究』第15巻第1号 日本植生史 2007 工藤知朗 「漆器製作のムラ」 同成社				
2006 干葉敏朗 「東京都下宅部遺跡」『季刊考古学』第95号 雄山閣 2007 工藤雄一郎・小林謙一・ 坂本稔・松崎浩之 「東京都下宅部遺跡における 14 C 年代研究」 『考古学研究』第53巻第4号 考古学研究 『考古学研究』第53巻第4号 「下宅部遺跡における狩猟儀礼」『原始・古代日本の祭祀』 同成社 2007 日本植生史学会 「特集:下宅部遺跡の縄文時代」『植生史研究』第15巻第1号 日本植生虫 2007 工葉知朗 「漆器製作のムラ」 同成社				
2007 工藤雄一郎・小林謙一・ 坂本稔・松崎浩之 「東京都下宅部遺跡における 14 C 年代研究」 『考古学研究』第53巻第4号 考古学研究』 同成社 2007 千葉敏朗 「下宅部遺跡における狩猟儀礼」『原始・古代日本の祭祀』 同成社 2007 日本植生史学会 「特集:下宅部遺跡の縄文時代」『植生史研究』第15巻第1号 日本植生虫 2007 工芸知朗 「漆器製作のムラ」	日経サイエンス社			
2007 坂本稔・松崎浩之 『考古学研究』第53巻第4号 2007 千葉敏朗 「下宅部遺跡にあける狩猟儀礼」『原始・古代日本の祭祀』 同成社 2007 日本植生史学会 「特集:下宅部遺跡の縄文時代」『植生史研究』第15巻第1号 日本植生史 1007 工芸知朗 「漆器製作のムラ」 同成社 日本植生虫	雄山閣		2006	
2007 日本植生史学会 「特集:下宅部遺跡の縄文時代」『植生史研究』第15巻第1号 日本植生史 2007 工芸知朗 「漆器製作のムラ」 同成社	考古学研究会	歌・小林謙一・│「東京都下宅部遺跡における 14℃年代研究」 松崎浩之 『考古学研究』第53巻第4号	2007	
2007 工芸敏的 「漆器製作のムラ」 同成社			2007	
2007 千葉敏朗 「漆器製作のムラ」 同成社 同成社	日本植生史学会	史学会 「特集:下宅部遺跡の縄文時代」『植生史研究』第15巻第1号	2007	
	同成社	「漆器製作のムラ」 『縄文時代の考古学 6 ものづくり‐道具製作の技術と組織‐』	2007	
2008 石川正行 「下宅部遺跡はっけんのもりの誕生-市民と地域博物館による遺跡 東京都公園	東京都公園協会	「下宅部遺跡はっけんのもりの誕生-市民と地域博物館による遺跡 公園づくり-」『都市公園」183	2008	

『下宅部遺跡の調査成果と今後の活用』 勅使河原彰氏

(ふるさと歴史館)

2月21日(土)午後1時30分から 2月14日(土)午前8時から ニュース印刷発行(ふるさと歴史館) 除草・清掃作業(はっけんのもり) 第82回育てる会「講演会」

2月10日 (火) 午後1時30分から

定例検討会議(ふるさと歴史館)

2月1日(日)午後1時30分から 2月4日(水)午後7時30分から 2月3日(火)午後1時30分から 1 月 27 日 1月25日(日)午後1時30分から 縄文アンギン部会(ふるさと歴史館) 縄文アンギン部会(ふるさと歴史館) 縄文土器部会(ふるさと歴史館) 縄文土器部会(ふるさと歴史館) 除草・清掃作業(はっけんのもり) (火)午後1時30分から

1月24日(土)午前8時から

1月17日(土)午後1時30分から

第81回育てる会「下宅部遺跡研修会

(ふるさと歴史館)

ニュース印刷発行(ふるさと歴史館)

今後の予定

1月13日(火)午後1時30分から

育てる会